



平成 30 年 4 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 N J S
代表者名 代表取締役社長 村上雅亮
(コード番号：2325 東証第一部)
問 合 せ 先 管理本部 人事総務部長 小笠原 剛
(TEL：03-6324-4355)

国土交通省 平成 30 年度下水道革新的技術実証事業 (B-DASH プロジェクト)

2 件採択のお知らせ

当社は、国土交通省による平成 30 年度下水道革新的技術実証事業 (B-DASH プロジェクト) に他社と共同で応募し、下記のとおり採択されましたのでお知らせいたします。

記

1. B-DASH プロジェクトについて

国土交通省は、下水道事業が抱える様々な課題に対応可能な革新的技術の開発・活用を進めるため、実規模レベルの施設を設置して技術的な検証 (実規模実証) を行い、ガイドライン化して革新的技術の全国展開を図っていくことを目的として、下水道革新的技術実証事業を平成 23 年度より実施しています。当該事業は Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project の頭文字をとって、「B-DASH プロジェクト」と称され、広く民間企業等に対して公募されます。

公募テーマは、下水道事業における低炭素・循環型社会の構築やライフサイクルコスト削減、浸水対策、老朽化対策等と多岐にわたり、実規模レベルの施設を用いた実規模実証の他に、平成 28 年度からは、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認を行う FS 調査を実施しています。

2. 採択の経緯

当社は、平成 30 年度 B-DASH プロジェクトの公募に対し、他社との連携・協力により 2 件の提案を行い、学識経験者からなる第三者委員会の審査を経て両案件とも採択に至りました。

表 当社が参画する平成 30 年度 B-DASH プロジェクト

区分	名 称	提案者(共同)
実規模実証	小規模下水処理場を対象とした低コスト・省エネルギー型高濃度メタン発酵技術に関する実証事業	株式会社大原鉄工所 株式会社西原環境 株式会社 N J S 長岡技術科学大学 北海道大学 長岡市
FS調査	AIによる下水処理場運転操作の自動化・省力化技術の実用化に関する調査事業	株式会社明電舎 株式会社 N J S 広島市

平成 30 年度の B-DASH プロジェクト新規採択案件については国土交通省のホームページでも公表されています。

URL http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000371.html

3. 採択案件の概要

①小規模下水処理場を対象とした低コスト・省エネルギー型高濃度メタン発酵技術に関する実証事業（実規模実証）

株式会社大原鉄工所、長岡市等と共同で、新潟県長岡市中之島浄化センターをフィールドとして、効率的な汚泥処理システムの実証実験を行います。脱水機を濃縮機として二段活用し得られた高濃縮汚泥を、ユニット化したコンパクトな横型消化槽にて高濃度消化する事により、減量化・ガス回収するシステムについて、安定性や、消化効率、経済性の向上を実証するものです。

小規模下水処理場を対象とした低コスト・省エネルギー型高濃度メタン発酵技術に関する実証事業



図-1 小規模下水処理場を対象とした高濃度メタン発酵技術実証実験イメージ

共同提案者 株式会社大原鉄工所 Web サイト

<https://www.oharacorp.co.jp/>

②AI による下水処理場運転操作の自動化・省力化技術の実用化に関する調査事業

下水処理場の運転操作に関する操作履歴や水質データ及び処理状況の画像データから処理状況を自動的に把握し、運転改善の必要性や対応方法を導出する AI 技術について自動化・省力化の可能性、実用化に向けた信頼性や導入方法を確認するものです。

本調査により AI の活用が進むことで、下水道の施設運転管理が自動化・省力化されることが期待されます。本調査に取り組む背景として、処理状況に応じた判断と対応方法を AI の活用により自動的に導出し、運転操作を効率化することで自動化・省力化に繋げることと、熟練技術者減少に伴う技術力不足への対応として、熟練技術者の行動や思考の見える化による技術継承があります。

AIによる下水処理場運転操作の自動化・省力化技術の実用化に関する調査事業

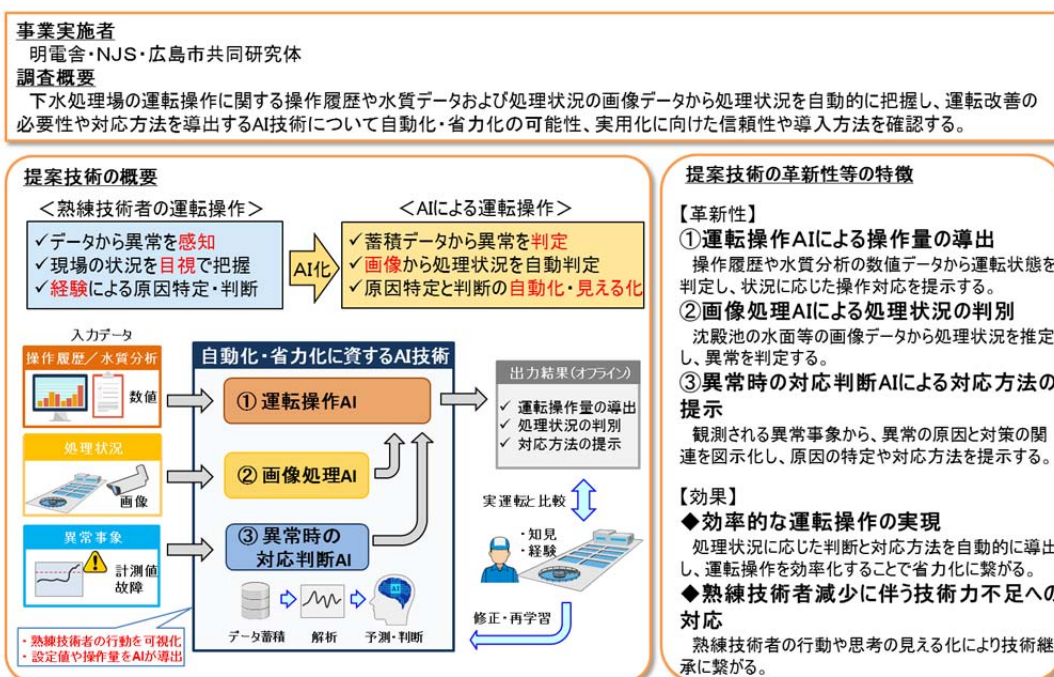


図-2 AI による下水処理場運転操作の自動化・省力化イメージ

共同提案者 株式会社明電舎 水インフラ事業 Web サイト

<http://www.meidensha.co.jp/products/water/index.html>

以上

【本件に関する問い合わせ先】

開発本部 副本部長 川崎 達

電話番号：03-6324-4355

Email：technical@njs.co.jp